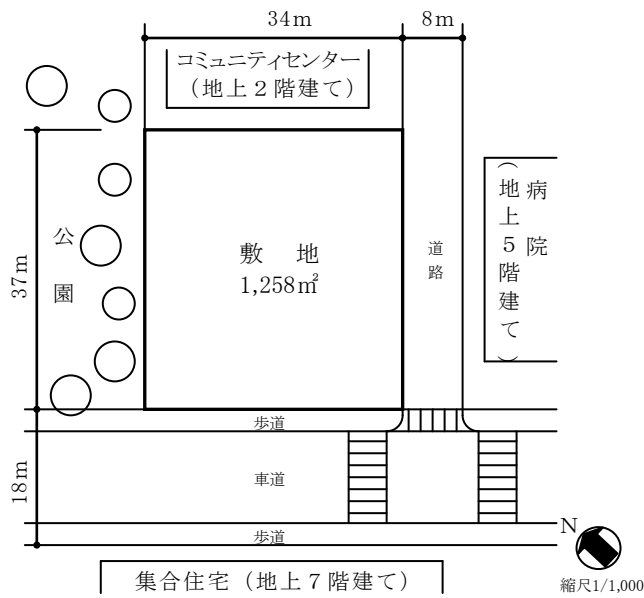


### I. 設計条件

この課題は、ある都市の市街地において、一部ユニット型の介護老人保健施設を計画するものである。本施設には、ユニットケアの他に、短期入所療養介護(ショートステイ)、通所リハビリテーションを併せもつものとする。なお、設計に当たっては、この設計課題で示す設計条件によるものとし、介護保険法に関する規定については、考慮しなくてよいものとする。

#### 1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、第二種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は300%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好である。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



#### 2. 建築物

- (1) 構造、階数等  
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又はこれらの併用とし、地上5階建ての1棟の建築物とする。なお、梁については鉄骨造としてもよい。
- (2) 床面積の合計  
床面積の合計は、3,200㎡以上、3,600㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	設置階	室名	特記事項	床面積
通所部門	1階	食堂D	・通所リハビリテーションを行う。	約150㎡
		機能訓練室D	・両室は、一体として設ける。	適宜
		談話コーナー	・吹抜けを設ける。	適宜
ショートステイ部門	2階	療養室S	・2人室を4室(約25㎡/1室)設ける。 ・各室に洗面台、便所を設ける。 ・各室にバルコニーを設ける。	特記事項により算定
		機能訓練室S	・ユニットケア部門の入所者も利用する。	約100㎡
		食堂S	・談話室を兼ねる。	約40㎡
		サービスステーション	・入所者の看護、介護を行う職員が常駐する。 ・受付、仮眠室を設ける。	適宜
		汚物処理室	・流し台を設ける。	適宜
ユニットケア部門	3~5階(基準階)	療養室U	・ユニットAに個室を6室(約15㎡/1室)、ユニットBに個室を6室(約15㎡/1室)設ける。 ・各室に洗面台、便所を設ける。 ・各室にバルコニーを設ける。	特記事項により算定
		共同生活室	・各ユニットに1室(約30㎡)ずつ設ける。 ・入所者が交流し、食事をするスペースとする。	適宜
		浴室U	・ユニットA及びユニットBで共用とする。 ・脱衣室、便所を設ける。 ・家庭浴槽(個人浴槽)を1槽設ける。	適宜
		サービスステーション	・入所者の看護、介護を行う職員が常駐する。 ・受付、仮眠室を設ける。	適宜
		汚物処理室	・流し台を設ける。	適宜
共用・管理部門	2階	一般浴室	・脱衣室、便所を設ける。	約40㎡
		特別浴室	・機械浴槽、脱衣室、便所を設ける。	約40㎡
	1階	玄関ホール	・風除室を設ける。 ・下足箱を設ける。	適宜
		事務室	・事務員等5人とする。 ・受付を設ける。	適宜
		施設長室		適宜
		診察室		適宜
		相談室	・施設利用者等に対して生活指導を行う。	適宜
調理室	・施設利用者の食事を調理する。	適宜		
更衣・休憩室	・男性用、女性用として各1室設ける。	適宜		
適宜	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気等)、屋外機置場等を計画する。	適宜	

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。  
・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

- (4) 廊下の構造  
施設利用者が日常的に利用する廊下の幅は、1.8m以上とする。ただし、中廊下の場合には、2.7m以上とする。

#### 3. その他の施設等

- (1) 駐車場は、平面駐車とし、通所リハビリテーション利用者の送迎用マイクロバス用(1台当たりの駐車スペース3.5m×7.5m)として1台分、送迎用ワゴン車用として1台分、サービス用として2台分を設ける。
- (2) 送迎用マイクロバス等が利用する車寄せを、玄関ホールに隣接させて設ける。
- (3) (1)及び(2)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

#### 4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 敷地周辺の環境に配慮する。
  - ② ユニットケア部門においては、ユニットごとに入所者の日常生活が営まれることに配慮する。
  - ③ 火災等の際に、施設利用者が円滑に避難できるよう配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - ② 構造種別、架構形式、スパン割を適切に計画する。
  - ③ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、防災設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
  - ② エレベーターを適切に設ける。

### II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線は枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。(※答案用紙Ⅰは、A2サイズの5mm方眼用紙)

#### 1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

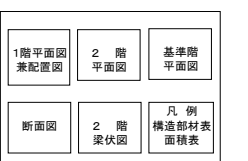
図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び基準階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)ロ. 室名等 ハ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。)
(2) 2階平面図 1/200	ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(P.S)、ダクトスペース(D.S)、電気シャフト(E.P.S)〕の位置
(3) 基準階平面図 1/200	ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. 食堂D・機能訓練室D、機能訓練室S、食堂Sの床面積
(4) 断面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図及び基準階平面図(3階とする。)には、次のものを図示又は記入する。 イ. 基準階において、療養室Uの最も遠い位置から2以上の避難階段に至る歩行経路及び重複区間距離 ロ. 代表的な療養室S1室及び代表的な療養室U1室の室内プラン及びその床面積 ハ. 療養室S及び療養室Uの出入口 ニ. 療養室Sの表示(S <sub>1</sub> ~S <sub>4</sub> ) ホ. ユニットA内の療養室Uの表示(A <sub>1</sub> ~A <sub>6</sub> ) ヘ. ユニットB内の療養室Uの表示(B <sub>1</sub> ~B <sub>6</sub> ) ト. 基準階の共同生活室には、テーブル、いす等 チ. 直下階の屋根、ひさし等となる部分
(5) 2階梁伏図 1/200	① 切断位置は、療養室Uを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 ① 2階からの見下げ図とし、主要な柱(C <sub>1</sub> )、大梁(G <sub>1</sub> )、小梁(B <sub>1</sub> )及びスラブ(S <sub>1</sub> )の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。

#### 2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1~5階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。(※算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

#### 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①~④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物へのアプローチの計画について、工夫したこと
  - ② 2階におけるゾーニング・動線計画について、工夫したこと
  - ③ 基準階におけるユニットA、ユニットBのゾーンの区分について、工夫したこと
  - ④ 建築物の避難計画について、工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式とこれらを採用した理由
  - ② 耐震計画について、工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①~④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物に採用した空調方式と採用した理由
  - ② 建築物に採用した給湯設備の熱源機と採用した理由
  - ③ 照明設備の計画について、工夫したこと
  - ④ 排煙計画について、工夫したこと



答案用紙Ⅰ図面レイアウト